

かみね 議会だより

186号

●平成30年 第2回定例会(6月)

P2~6 こんなことが決まりました

P7~14 そこが聞きたい(一般質問)

P15 議会活動



上小学習田の田植え

今年も5年生児童による田植えが行われました。町政30周年の節目、今年の稲文字は「なかま30th」となっています。

30年度 一般会計
補正予算(第1号)可決

平成30年6月第2回定例会で

こんな
ことが

決まりました

7議案 1発議 可決
1人事案 同意

平成30年第2回定例会は6月8日から6月15日までの8日間の会期で開催され、専決処分の承認を求める案件等上程された8議案のうち7議案が原案通り可決、1人事案については同意し、1発議案については原案通り可決しました。

上峰町選挙管理委員 及び 補充員が決定しました！

選挙管理委員



氏名 重松 信文
年齢 69歳
地区 江迎
在住



氏名 古川 直美
年齢 70歳
地区 船石
在住



氏名 八谷 勝憲
年齢 71歳
地区 下坊所
在住



氏名 大石 尚男
年齢 70歳
地区 寺家一
在住

委員長職務代理者

委員長

選挙管理委員補充員

氏名 平尾 晴久
年齢 65歳
地区 寺家一
在住

氏名 小野 照次
年齢 66歳
地区 下坊所
在住

氏名 原 福次
年齢 74歳
地区 鳥越
在住

氏名 原 和昭
年齢 77歳
地区 中村
在住

氏名 小野 清人
年齢 59歳
地区 上防所
在住



上峰町固定
資産評価員
の選任

全員
同意

平成30年第2回定例会において、上峰町選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙を実施しました。
選挙管理委員に4名、同補充員に4名の方々が選出されました。
委員長に大石尚男氏、委員長職務代理者に八谷勝憲氏が就任されました。
※任期は、平成30年7月7日から平成34年7月6日までの4年間です。

平成30年度 補正予算

2億3,695万6千円増額して、総額117億9,092万7千円となる。

一般会計

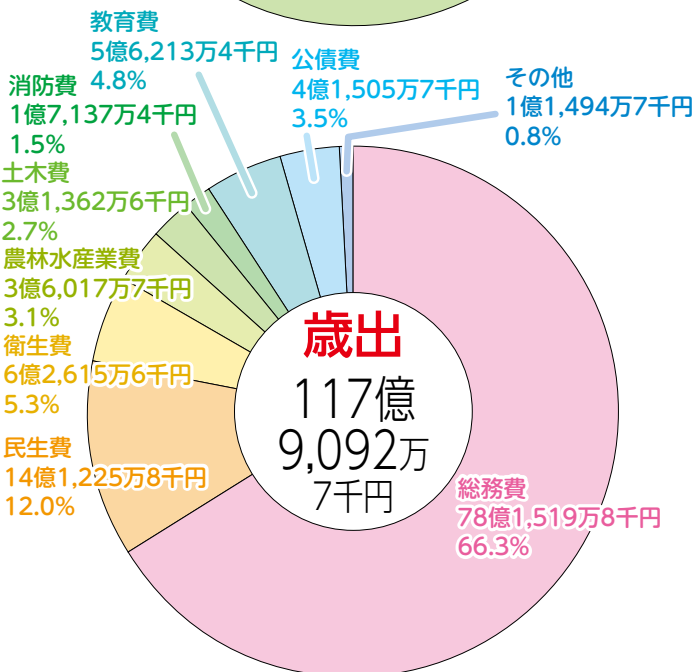
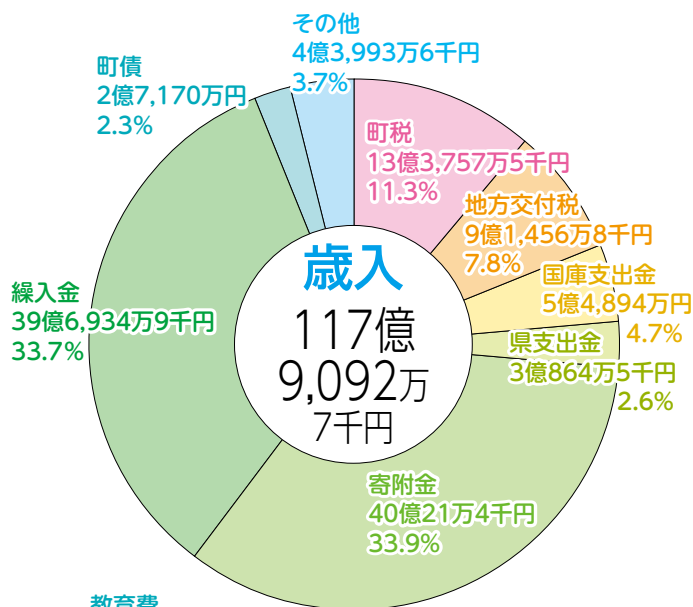
歳入補正予算の主なもの(増額のみ)

- ◎国庫支出金
 - ・地方創生推進交付金 4,115万円
- ◎財政調整基金から繰入金 4,400万円
- ◎ふるさと寄附金基金繰入金 6,064万6千円
- ◎町債
 - ・公共施設等適正管理推進事業債 9,270万円

歳出補正予算の主なもの(増額のみ)

- ◎魅力発信拠点づくり事業委託料 1,100万円
- ◎鎮西山再整備実施計画等策定業務委託料 3,600万円
- ◎官民連携基本計画策定業務委託料 1,500万円
- ◎地域振興施設整備マネジメント業務委託料 360万円
- ◎地域振興施設整備運営計画策定業務委託料 584万2千円
- ◎商業施設整備マネジメント業務委託料 431万4千円
- ◎地域づくり補助金 500万円
- ◎NPO法人等中間支援組織設立助成金 200万円
- ◎コミュニティバス等購入費 4,493万1千円
- ◎上峰町地域公共交通活性化協議会補助金 3,200万円
- ◎町道補修等工事 5,591万円
- ◎調査設計業務委託料(町道) 700万円

本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

特別会計

後期高齢者医療特別会計

26万7千円を増額し、1億410万9千円となる

補正予算（第1号）から
95万6千円

官民連携基本計画策定業務委託料

中心市街地再開発に伴う官民連携基本計画
の策定を委託するもの

1,500万円

地域振興施設整備マネージメント業務委託料

地域振興施設整備に伴う国・県との協議・
資料作成等を委託するもの

360万円

商業施設整備マネージメント業務委託料

商業施設整備に伴う関係者との協議・資料
作成等を委託するもの

431万4千円

鎮西山再整備実施計画等 策定業務委託料

鎮西山再整備の実施設等を委託
するもの

3,600万円

魅力発信拠点づくり事業委託料

町の魅力発信となるイベント体験
型プログラム等を開催するもの

1,100万円

地域振興施設整備運営計画策定業務委託料

地域振興施設の運営体制を構築するために
委託するもの

584万2千円

主なものを
紹介します

平成30年度 一般会計
2億3,6

コミュニティバス等購入費

通学用バス（日野ポンチョ2台）を購入するもの

4,493万1千円

上峰町地域公共交通活性化協議会補助金

バス停、サイネージ、オペレーターシステム等
コミュニティバス運行上の整備をするもの

3,200万円

NPO法人等中間支援組織 設立助成金

200万円

各種市民社会組織の活動支援を行う中間
支援組織の設立を助成するもの

地域づくり補助金

500万円

地域活性化事業を上限100万円で補助するもの

イメージソング制作 委託料

54万円

町のイメージソングを制
作するもの（町制30周年
にむけて）

調査設計業務委託料 （町道）

700万円

町道八枚、碇線実施設計
を委託するもの

町道補修等工事費

5,591万円

町内の道路改修に使用す
るもの

議会を傍聴してみませんか

毎回、町民の皆さまに議会を傍聴していただき、ありがとうございます。
次回の定例会の会期は、9月7日（金）から14日（金）までを予定しています。
一般質問は10日（月）及び11日（火）の予定です。詳しい日程は町のホーム
ページでご確認ください。



国に対し

意見書を提出

教職員定数の改善及び

義務教育費国庫負担制度

拡充に係る意見書

賛成 全員

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちのゆたかな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠である。特に小学校においては、18年度から新学習指導要領の移行期間に入り、外国語教育実施のため授業時数の調整など対応に苦慮する状況となっている。ゆたかな学びの実現のためには教職員定数改善などの施策が最重

要課題である。また、明日の日本を担う子どもたちを育む学校現場において、教職員が人間らしい働き方ができるための長時間労働是正が必要であり、そのための教職員定数改善は欠かせない。

義務教育費国庫負担制度については、小泉政権下の「三位一体改革」の中で国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられた。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置を行って

記

1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。

2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担割合を2分の1に還元すること。

平成30年 第2回定例会 議案賛否表

議案番号	件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
			向井正	吉田豊	田中静雄	碓勝征	漆原悦子	井上正宣	吉富隆	大川隆城	原田希	寺崎太彦
○は賛成 ×は反対												
第1回定例会												
22	専決処分の承認を求めることについて（上峰町税条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
23	専決処分の承認を求めることについて（上峰町国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
24	上峰町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
25	上峰町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
26	平成30年度上峰町一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
27	平成30年度上峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
28	上峰町固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
29	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
発議2	上峰町議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
-	選挙管理委員及び同補充員の選挙	当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
-	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

○は賛成 ×は反対

*議長は賛否の意思表示をすることはできません。採決の結果、可否同数のときは議長が裁決権を行使します。（過半数議決の場合）

一般質問

そこが聞きたい

上峰町創生は

前任者に同じ考え

問 企業誘致の考えは。

答 創生室長 工業団地への工場建設と

いったような従来型の企業誘致のみならず、雇用継続や生産性の向上など、新たな指標を開発する必要がある。官民連携による民間ネットワークの導入や、専門的知見の活用などが必要と考えている。



吉田 豊 議員

これらの潮流は、企業立地政策の潮目でもあり、特徴を生かした独自のターゲット設定や、企業との関係構築が求められている現状の潮流を見据え民有地とのマッチングなど、両にらみでの政策展開を検討中である。

問

大学の卒論ではない。企業誘致には、

土地がなければどうにもならない。土地があつてこそ、前に進むことができる。そのためには、上峰町の土地利用計画の見直しを行い、用地買収に早急に取りかかるべきだ。室長の考えは。

答

創生室長 確かに土地がなければ何も進まないではないかという指摘かと思うが、今企業誘致の形態が変わってきている。企業買収、あるいはPFIといった民間資金を活用した動きが土地の購入を含めて活発になされてきているのが現状である。

問

理論的には理解するが、既存の町有地の活用と言うが、既存の町有の遊休地がどこにあるか、一坪の土地もないではないか。企業誘致をする土地があつてこそ、方法としてPFI

答

創生室長 現状において、今率先してという現況にはないと思つている。いや、民間資金の活用を図って進める。買う気があるのかないのか。

鎮西山の再開発は

本町を代表する観光拠点としたい

問

鎮西山再開発計画では、コンサルからの回答が来ていると思うが。

答

創生室長 基本計画策定等に、外部からも稼げる山として再整備の策定をしてきた。今後は実施

計画の段階だ。

要望

計画についてはもう良い。私の思いは一つ。日本人は日本一というものに弱い。日本一の大観覧車でもつくるくらいの、奇想天外な計画を望む。

イオン上峰店対策は

買収を含め検討

問

新聞報道によると、2019年2月末日をもって閉店するとあるが、どのように思っているか。

答

町長 上峰町の中心部総合開発地域の中心施設と位置づけていたので大変苦慮している。

問

ある人は撤退と言う人もいる。閉店なのか撤退なのか。

答

町長 閉店するという連絡を受けている。

問

いずれにせよ、町民の中から買物難民がでる可能性もあり、跡地の利用については、町民目線で対応してもらいたい。そのためには町有地化も含めた対応が必要と思うがどうか。

答

町長 現段階では、何とも言えないが、基本的には、その方向で考えている。

ほかに

- インセンティブ事業の内容と実施時期について
- 農業の振興について
- 道の駅構想について

一般質問

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



向井 正 議員

乗り合いタクシーの料金設定は

定期券導入を検討

問 他の自治体の乗り合いタクシーの実

施状況を見ると、利用者の8割近くが高齢者になっている。料金については、利用者負担軽減を考えた設定が必要では。

答 健康福祉課長 県

内市町の状況や既存のタクシー料金設定を考慮し、利用者にとって大きな負担にならないよう、定期券の導入を検討しており、定期券購入期間に応じた割引率の設定など、利便性

の向上、かつ利用者負担の影響を考慮した仕組みづくりを協議していく。

問 運転免許証自主返納者等に対する割引制度の考えは。

答 健康福祉課長 新

も、今現在対応している割引制度については、スライドして割引体制をとる形で考えている。

鎮西山再整備のコンセプトは

通年型の再整備を目指す

問 平成30年度は実施計画策定ということだが、再整備に当たり一番重要なコンセプトは。

答 創生室長 鎮西山

に求められている最大の役割は、町における観光誘客の新たな拠点となることと考えており、町民・県民・来訪者が訪れやすい通年型の再整備を目指す。

問 鎮西山でしか味わえない、そして、体験できない仕掛けが必要かと思うが。

答 創生室長 何がし

か誘客のためのコンテンツは必要かと考えており、実施計画の中で運営計画を策定していくことで詳細を詰める。



再整備計画中の鎮西山

答 副町長 今年度は回遊性を目で見れるマップの作成等、ソフトに関し手だてをつくり込み、来年度以降ハードとして結びつけたい。

空き家対策の進捗は

第1回協議会の日程調整中

問 3月定例では、新年度早々に新しい構成メンバーで空き家対策推進協議会の開催ということだったが。

答 住民課長 4月に

入り委員の選任に取りかかり、産業関係、区長会会長、地権者、有識者等町長を会長とし、8名による協議会を立ち上げることで決定した。

問 6月議会終了後に第1回の会議の日程調整に入っている。

答 町内に現在81件の空き家があり、その内7件の空き家が倒壊の恐れがあるということで、周辺の

生活環境の保全を図るためには、早急な対応が必要では。

答 住民課長 7件に

関しては、特定空き家の措置と考えるおり、特措法の基準に基づき、上峰町の空き家対策推進協議会で対処していきたいと考えている。

問 空き家対策に関する住民への情報提供は。

答 住民課長 協議会設置の広報、また、有効利用等含めたところで広報紙、ホームページ等を使いながらやっていきたい。

ほかに

○空き家バンク開設について
○堤土聖跡公園のトイレ改修について

教育クーポンの取り組みは

放課後学習の費用を補助

問 教育、子育て支援ということでは、教育クーポンの取り組み内容は、

答 教委事務局長 生徒の基礎学力定着と苦手分野の克服を図ることを目的とし、上峰中学1・3年生を対象にクーポンを活用した放課後学習を実施し、生徒1人当たり3万円のクーポンを保護者に交付する。

充実した活動を支援していく。

問 高校受験で中学3年生を対象にしたクーポン交付だが、高校受験は、3年間を通しての取り組みで2年生もクーポン交付の対象とすべきと思うが。

答 教委事務局長 中学校のほうから2年生の放課後については、部活動を主体に取り組みたいとの意見をいただき、中学1年生、3年生を対象にしている。



田中 静雄 議員

問 子育て支援策として英語検定料の補助を実施中だが、昨年度中学3年生の3級以上の合格者割合は何%か。受験することによって、英語の学習意欲が上昇して来る。多くの生徒達に検定料を補助し学習力UPを目指してほしい。

答 教委事務局長 3級以上は12%、目標の50%を目指し、今後、財政当局、関係部署と協議し進めていく。

問 数学検定、漢字検定の合格増にも取り組んでもらいたい。

答 教委事務局長 今後、数学検定、漢字検定の検定料補助についても議論している。

人口増にむけての町のPR活動は

広く発信するよう努力する

問 多くの自治体の子育て支援に取り組んでいるが、我が町は、さらに、一歩進んだ支援体制となっていると思う。このことを町外に向けてPR活動に取り組んでもらいたい。

答 町長 教育子育て施策の充実が対外的にわかるような資料が不足していると思う。現物給付の事業、あるいは補助金等が主要な理由として移り住むきっかけとなることはあり得る。今後、広く発信していくよう努力する。

三上北町道整備の方針は

社会資本整備総合交付金事業の対象箇所として計上

問 三上北、ヤクルト住宅周辺は民間による宅地開発が進んでいるが、町道の整備、および雨水の排水溝の整備が遅れていることが問題で、請願書を提出して9年になるが、整備方針はどうなっているか。

答 建設課長 平成21年9月に請願採択を受け、平成24年度に概略設計を行っており、道路の両側に大きな300タイプの環境型側溝を設置した全幅5mの道路で計画をしている。補助事業で整備予定であり、社会資本整備総合交付金事業の対象箇所として計上している。



整備が待たれる三上北東西2号線

ほかに

○婚活事業の考えは
○三上南ノ立野間の排水溝安全対策は

一般質問



大川 隆城 議員

児童保育改善急げ

複数案を協議中

問 これまで実施場所
スペースのこと等

で問題視され平成30
年度希望者が121名と
なり早急な改善が求
められているが、昨
年度教育委員協議
では上小体育館そば
に必要な民地を求
めてでも整備すべし
となっていたが、そ
の後の協議はどう進
んでいるのか。

答 教委事務局長 現

在複数案を並行し
来年度に向けいろん
な方法で協議中。

問 29年9月議会で改
善を求めて約10カ

月、30年度は増員す
ることも予想されて
いたのに現行のまま
87名分のスペースし
かない場所に121名を
押し込んで1年間通
すことは児童の人權
をも無視することだ。
応急的にも他の教室
を利用するなど対策
を講じるべきだ。もっ
とスピード感を持つ
て取り組んでほしい。
2学期からは参加児
童が気持ち良く過ご
せるように夏休み終
了までには結論を出
してほしいがどうか。

上小北通学路沿い 法面整備を急げ

危険防止策を検討中

問 上小北側通学路沿
いの法面に以前は

つつじがきれいな花
を咲かせていたが、
なぜか伐採されてそ
のまま、上の方は杭



上小北側通学路沿い法面

答 教委事務局長 そ
の方向で進んでい
きたいと思う。

きたと思う。

を打ちトラロープが
1本張られただけで
あぶない。早く危険
防止策を講じるべき。

答 教委事務局長 29
年11月に根元から
伐採したつつじも新
枝を伸ばし30株の3
段90株あり法面の草
刈り等維持管理して
いく。

問 毎朝トラロープを
さわる児童が多い
し時に荷物を落とし
てすべる子もある。
下に水路があり落ち
込む危険もある。学
校長等、関係者と協
議を重ねて取り組
みを急げ。

答 教委事務局長 水
路横に土止めブ
ロックや張りブロッ
ク等々検討している。

路横に土止めブ
ロックや張りブロッ
ク等々検討している。

上中グラウンド 排水不良改修を急げ

段階的に進める

問 上中グラウンド南
側町民プールから

20〜30mの幅で排水
不良状況だが周囲の
側溝に泥が詰まって
いるのが原因と思わ
れる。それを除去し
改修すれば排水不良
が改善され、使用不
能グラウンドが有効
利用できることにな
る。

答 教委事務局長 町
民プール北、20〜
30mは利用していな



排水不良の上中グラウンド南側

いが草が伸びて水が
たまり、上坊所お宮
の樹木の日陰で乾き
づらい等々の理由が
重なったのことも考
える。側溝の泥揚げ
はまだできていない
が、グラウンドの中
に暗渠排水が必要か、
とか予算的なこと、
費用対効果等々段階
的に進めていきたい
と考える。

要望 費用対効果のこと
を考えると、まず
側溝整備を早くきち
んと改修すれば路面
は乾き、お宮の樹木
というより周辺の樹
木の枝打ちなどで利
用面積は増え、効果
がある。まず排水不
良解消に取り組むべ
きだ。

側溝整備を早くきち
んと改修すれば路面
は乾き、お宮の樹木
というより周辺の樹
木の枝打ちなどで利
用面積は増え、効果
がある。まず排水不
良解消に取り組むべ
きだ。

ふるさと納税関連および契約は

総務省通達に準じて実施

問 平成30年度ふるさと納税の進捗状況は。

答 町長 定性的に、ふるさと納税については増加傾向にある。

問 総務大臣の通達によると、返礼品については3割以下、また地場産品となっているが、今後の町の対策は。

答 町長 ふるさと納税については継続的なつながりを持っていくことが重要であり、クラウドファンディング型のふるさと

と納税を活用したふるさと起業支援プロジェクトおよびふるさと移住促進プロジェクトを立ち上げ、取り組みを積極的に進めていく。

問 返礼品を送付する場合について。

答 町長 地方団体の区域内で生産されたものを提供するサービスを行うことが大事であり、良識ある対応をしていく。

問 返礼品の業者選定について。

答 町長 返礼品の選定基準を設けており、基準に基づき選

り、基準に基づき選



吉富 隆 議員

要望 3月の定例会でも質問したが、ガイドラインについては、上峰町にはないとの答弁があった。選定基準「ガイドライン」を設けた際には、議会に説明を強くお願いする。



ふるさと納税返礼品

問 ふるさと納税PR公告内容および業者選定について。

答 町長 29年度同様に進めていく。

問 業者選定について。

答 町長 今後PR活動については、プロポーザル方式で業者選定を行う。

問 国民全体のふるさと納税額は。

答 町長 国民全体の寄附額は2兆円を上回る市場だと聞き及んでいる。これから数年間は右肩上がり状況が続くと思う。

要望 返礼額30%以下となっており、返礼品については、地場産品でとなっているため、生産者と協議

を重ね、ふるさと納税に協力をお願いし、町長の手腕に期待する。

ほかに
○アンテナショップの建設は
○子育て支援について



ふるさと納税返礼品



漆原 悦子 議員

ハラスメント防止対策は

ストレスチェック制度導入

問 事業主に男女雇用機会均等法改正時に、セクハラ防止のため雇用上の管理の義務づけがされていると聞いているがハラスメント防止対策は。

答 総務課長 平成28年度から職員の健康管理の面からもハラスメントなどに起因するメンタル不調を未然に防ぐということとストレスチェック制度を導入、ストレス原因の早期発見に努めるとともに結果に基づき産業医の面接指導を行い、

人事異動等も考慮する措置をとることができるものと規定をしている。

ハラスメントは受け取り手の主観によるところが大きく、ハラスメントに当たるかの認定が職員では難しいので、現状は必要に応じて産業医等に相談しながら対処している。

問 被害者・加害者にならないうように意識を持つための研修はできないか。

答 総務課長 ハラスメント関係だけの研修は町村会では

ふるさと納税PR広告は

4つの柱で情報伝達

問 PR広告の実態は。

答 町長 平成29年度は企画費、製作・広告メディア・PR制作の関連費で、基本的にはウェブとテレビ、交通広告、そして拠点としてのアンテナショップと大きく分けて4つの柱でマスコミュニケーション（情報・伝達）を図っている。

問 東京モノレール車内展示および羽田空港パネル表示、東急線動画。また、上峰町から3名の方が上京されたテレビC

やっているの、民間でも研修等している所があれば予算計上してやっていきたい。

Mと動画があるが、広告期間は。

答 町長 交通広告媒体は12月11日から7日間、12月の寄附金が増加する時にB型ポスター・大型1枚を貼り出し。東急ビジョン映像広告は約10分に1回露出するよう合計73本、12月4日から4週間掲出。テレビ朝日CMは12月15日から31日で、オンエア回数15秒の50本、動画は幅広くユーチューブ、トゥルービューで、12月から2月までの間で68万回再生をしている。

問 アンテナショップは。また、町の商品は何か置いてあるのか。

答 町長 昨年11月にアンテナショップとして開始、今年5月までの利用件数は755件、ふるさと納税額としては2,982万6,000円となる。現在、町のふるさと納税商品取り扱いをしてみたいというところを作っている。昨年伺った時は商品として、米酒・ゴルフデンライム胡椒等があった。

平成29年度上峰町ふるさと納税PR広告業務一覧

大項目	中項目	金額（税込）
企画費	企画費	1,080,000円
制作関連	グラフィック基本制作	3,240,000円
	動画映像基本制作	36,720,000円
広告メディア関連	TV SPOT媒体	21,600,000円
	TV動画広告媒体制作	2,160,000円
	交通広告媒体制作	14,688,000円
	WEBメディア施策	36,720,000円
	メディア活動PR	5,400,000円
PR施策関連	上峰町データ活用施策	594,000円
	アンテナショップ施策	8,640,000円
合 計		130,842,000円

ほかに

- 上峰児童クラブについて
- 子ども食堂について
- 教育長の考えについて

教育長の所信を問う

誠心誠意力をつくす

問 教育長が新しく就任され初めての定例会となる。野口教育長の所信を問う。

答 教育長 就任して2カ月余り、町独自のシステムなどへの不慣れは否めないが、私の教育に対する思いや経験を再認識、整理し、新たに精進し学校教育・生涯学習・スポーツ・文化行政など本町教育をさらに進化、発展させたいと思っている。

の視点を重視し、より充実した事業や環境づくりを目指していく。

教育に携わる者が座右の銘とする「教育は人なり」という言葉があるが、行政も人なりと私は考える。常に教育委員会および教育関係者とのコンセンサスを機軸とし、その上で町長との意思疎通、歩調を合わせ、本町教育の進化発展に誠心誠意、使命と責任を自覚し、前向きな覚悟を持つて力を尽くしていく。



原田 希 議員

イオン閉店 町長の思いは

ショックが大きい

問 イオン閉店の発表を受けて、町長の思いは。

答 町長 非常に大きなショックを受けた。

進出当時、地域の商店主さんたちも泣く泣く事業を畳んだという話を聞くぐらいの影響があったにもかかわらず、すぐさま閉店を決定する考え方に對し、正直、憤りも感じた。と同時に、人口減少という社会全体の問題の中で、足元人口1万人未満の町で維持するのは非常に難しいということも良く分かるつもりで、周辺の環境整備をしているといっても、つらい状況だったのかな、と非常に複雑な気持ちでショックだ。1

万人未満の町でどうしたら、活性が生まれるか学術的な所からもご指導いただきながら、しっかり進めなければ人だまりはつくれないと思っている。村から町になり30周年の節目の年に、新たな考え方が提案できるよう、取得について検討させていただいた。

問 閉店となることで考えられる影響は。

答 創生室長 まず初めに、雇用されている方の就業問題。また、中心市街地における空洞化が生じることが懸念され、テナントへの影響や周辺商業施設・飲食店等への人・物の流れも変化が生じる懸念がある。本町における地域経済の牽引

役を担ってきた大型商業施設なので、その影響の波及は今後とも徐々に生じる可能性はある。

問 今後、町としてどのような考え方でどういう対応をしていくのか。

答 創生室長 まだ閉店の決議しか出されておらず、他の財産関係について、どのような取り扱いを

されるのか一切アナウンスされていない。そういう所に町としてコミットする余地があるのではないか。その方法や戦略を今回の補正予算の中の計画で煮詰めていくことを考えている。

答 町長 ピンチをチャンスに変えられるような状況に持ち込みたい。



再開発計画の変更を余儀なくされた中心市街地

タウンプロモーションの実態は

開始3カ月で黒字化



井上 正宣 議員

問 アンテナショップ
和食店「狸々」の
中に、上峰産の食材は
どれぐらいあるのか。

答 町長 米、酒、ゴー
ルデンライム胡
椒、上峰産の肉など
である。

問 寄附額が1万2,
000円の額に対
して、その54%が食
料となるが、寄附額が
6万4,000円の方
も54%、同じ率か。

答 町長 現在、その
ような率で設定し
ているところである。

問 町外通学に対して
準要保護と金額は
同等ぐらいなのか。

答 教委事務局長 町
外の小・中学校・
通学する児童・生
徒の保護者に対して
も学校給食費の補助
をしている。平成30

年3月に再度、未申
請の方に個別に案内
をして対象者全員と
連絡がとれ、児童生
徒の保護者全員、30
件の申請を受け合計
50万2,434円の補
助を出している。

耕地整理溜池の進捗は

計画どおり進んでいる

問 近年、災害は時間
雨量100ミリは身近
に起きています。町内
にある河川、ため池
が決壊するのは目に
見えている。耕地整
理ため池はもとより
谷渡のため池、井柳
川、切通川も危険だ。
また、町南部には活
断層が走っているし、
震度7がきたら壊滅
状態だ。一日でも早
くこの緊急性がある
ため池を整備してほ
しい。

答 産業課長 耕地整
理ため池は長さ約
120メートル、高さ約
10メートルもある町
内でも大きなため池
で事業完了まで5年
を計画、今年度実施
設計、来年から工事
着手の計画としてい
るが、国、県、そし
て地元、土地改良区
と一体となり早期完
了に努力する。

おたっしゃ館、日曜開館は

日曜日の利用が一番少ない

問 日曜日は中央公園
で行事等、大勢の
人が集まる中で閉館
は町外の人たちも利
用されず困っている。
答 町長 現在、お
たっしゃ館の運営
に1,925万7千円



おたっしゃ館

答 福祉課長 日曜日
の閉館時期は平成
28年5月1日からで、
利用期間の実績調査
をしたら日曜日が一
番少ない利用状況
だった。

学校給食費の無償化は

小中学校とも全員給食費は
無償

問 提出資料による
と、準要保護だけ
で要保護は載ってい
ないが国から給食費
が出ていないならば、
町の給食費の無料に
は関係ないというこ
となのか。

答 教委事務局長 要
保護について給食
費の補助は、別途国
のほうから出ている
ので、今回、上峰町
で支給している給食
費は、準要保護の児
童・生徒の分のみと
いうことである。

議会広報委員会

研修報告

広報編集委員長 大川 隆城

さる5月15日～5月16日の日程で兵庫県播磨町議会および神戸市、神戸新聞社を訪れ研修致しました。

最初に神戸新聞社に行き、阪神・淡路大震災発生時から1週間で新聞発刊再開までの経過を当時の災害状況パネルを見ながら関西一円の京都新聞等々の地方紙

に協力いただきながら、交通網が遮断されたなか歩いて原稿を届けたこと等々聞かせてもらいました。

次に新聞紙面作りをベースにして編集上の留意点について講義を受けました。

一番のポイントは見出しだけで中身が想定できる見出しにすること、第2に無駄な形容詞は使わないこと、第3にシンプ

ルな文章にすること、第4に具体的な数字をあげること、また見出しの文字数は10文字以内にとすること等々でした。今後の編集作業の中で十分

神戸新聞社での研修風景



播磨町議会

反映させる努力をしていきたいと思いをしました。

全国広報コンクールで優秀な成績を残されている議会で、写真撮影などの取り組みを研修しました。

播磨町は人口約3万5千人、面積9・13km、大都市のベツトタウンとして発展した町で、議員定数14名、議会広報公聴委員会は7名で構成



されています。播磨町の議会だよりの特徴は表紙写真等が躍動感あふれる物で、その取り組みを聞くとその取り組みが日頃から自分の所有する力メウで行事等のおり撮影し、掲載についても内諾をもらっておいて後日協議して掲載写真を決定するとのこと。また一般質問に関係する写真は質問者本人が撮影し委員会に提出することでした。私達も写真撮影および

掲載に係る承諾を得るのに苦労する面があるのを参考にして協議したいものです。ちなみに播磨町議会では一般質問は3月定例会のみ代表質問で質問時間1人45分、6月・9月・12月定例会は、1人30分、人数制限なし、一問一答方式でされています。どこの市町も住民の方が読みやすい議会だよりの作成を心がけて取り組まれており、良い所は参考にさせてもらって、さらに皆様に喜ばれる紙面作りに努力しなければと委員会一同思いながら研修を終えました。

播磨町での研修風景



納税証明書 全議員提出

上峰町議会議員政治倫理条例第6条には「議員は、上峰町から賦課されている税の納付証明書を毎年5月31日までに議長に提出しなければならない。」と規定しています。

この規定に基づき、全議員から納税証明書が提出されました。



募集!!



広報編集委員会では、議会だより「かみみね」に、町内の団体やサークルの紹介記事を掲載しています。

これまでに、スポーツ少年団・文化協会・中学校部活動などの各種団体を紹介させていただきました。この他にも、町内で

○町の活性化のためにこんな活動をしています！

○こんなボランティア活動をやっています！

○子どもたちと、こんなイベントを開催します！しました！

などなど、町内で頑張るみなさんの紹介をさせていただきたいと思っていますので、ぜひうちの団体、サークルを紹介したい！と思われる方々の応募をお待ちしています。

※詳細についてはお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先

上峰町議会広報編集委員会
(上峰町議会事務局内：上峰町役場 3 階)

☎0952-52-2184

メールアドレス：gikai@town.kamimine.lg.jp

行事への参加

4月～6月

- 4月8日 消防団入退団式
- 4月11日 上峰小学校入学式
- 4月11日 上峰中学校入学式
- 4月26日 上峰町ボランティアの集い



▲町木 つばき



▲町花 サルビア

昭和61年2月に町木、町花として制定されました。皆さんに親しんでいただきたいと思います。

あとかぎ

サッカーW杯では、強豪国を相手にチーム一丸となって戦う日本代表の姿に、多くの感動をいただきました。

町内では、イオン閉店の発表を受け、心配の声を聞く機会も増えています。これまで、イオンを中心市街地の核と位置づけ、町づくりを進めて来た上峰町にとって、大きな課題と考えています。

サッカー日本代表のように、上峰町が一丸となって町づくりを考えていくことが、これまで以上に求められるのではないのでしょうか。

(原田)

議会だより

広報編集委員会

委員長	大川 隆城
副委員長	田中 静雄
委員	原田 希
委員	吉田 正
委員	向井 正